

## (2) クラスタを発生・拡大させないようにします

- ① 福祉施設などにおいては、クラスタを発生させないよう懸命の努力をしていただいています。

引き続き、クラスタ発生防止対策をお願いします。

### 1. 「**持ち込まない対策**」を徹底しましょう。

外部からのウイルスの侵入を防ぐため、入所者、職員、来訪者等の健康管理・観察を徹底し感染経路を遮断。

### 2. 「**早期発見・拡大防止対策**」を徹底しましょう。

発熱者等の状況を把握し、感染の兆候をいち早く察知。

## (2) クラスタを発生・拡大させないようにします

- ② 県立医大感染症センターに、実地指導をお願いしてきました。引き続き、実地指導による感染拡大防止に努めます。
- 県立医大感染症センターと協力し、社会福祉施設を対象に、事前の実地指導を実施してきました。(R3年度も引き続き実施)
  - 新たに、市町村においても、事前の実地指導ができるよう、マニュアルを提供し、実地指導の支援を行います。
  - クラスタが発生した社会福祉施設、医療機関等を対象に、拡大防止のための実地指導を実施しています。
  - 改めて、社会福祉施設の職員の方々などに、「持ち込まない対策」の徹底をお願いする文書を発出します。
  - 企業や学校のみならずにも、同様の文書を発出します。

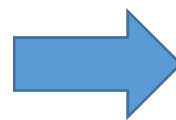
## (2) クラスターを発生・拡大させないようにします

**事例:** かぜ症状があるのに、連日別々のメンバーで食事会に参加した。

仕事帰りに宴会



翌日、友人と宴会



感染症専門医の助言

かぜ症状がある場合は、なおるまで家ですごしましょう  
特に飲食時に、マスクなしで対面にならないようにしましょう

**事例:** 高齢者福祉施設での集合形式の食事やその介助でクラスターが発生した。



感染症専門医の助言

食事時間をずらす、対面にならない、介助職員はフェイスシールドなどで目を覆うなど、対策をしましょう

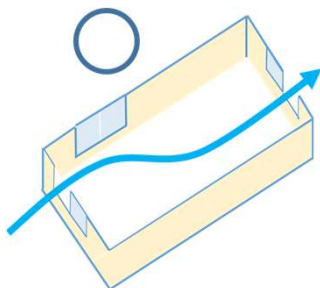
## (2) クラスターを発生・拡大させないようにします



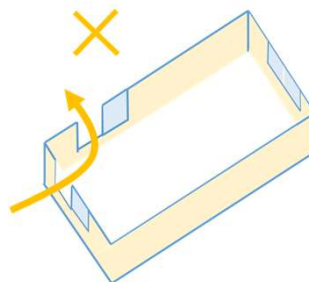
感染症専門医の助言

換気をしましょう

空気の通り道を作る窓の開け方

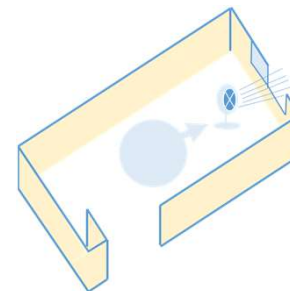


対角線上にある窓を開けると  
効率的



近くの窓を開けると狭い範囲で  
空気が循環して非効率的

窓が1つしかない部屋の換気は？



窓のそばに扇風機を置いて  
風の流れを作る



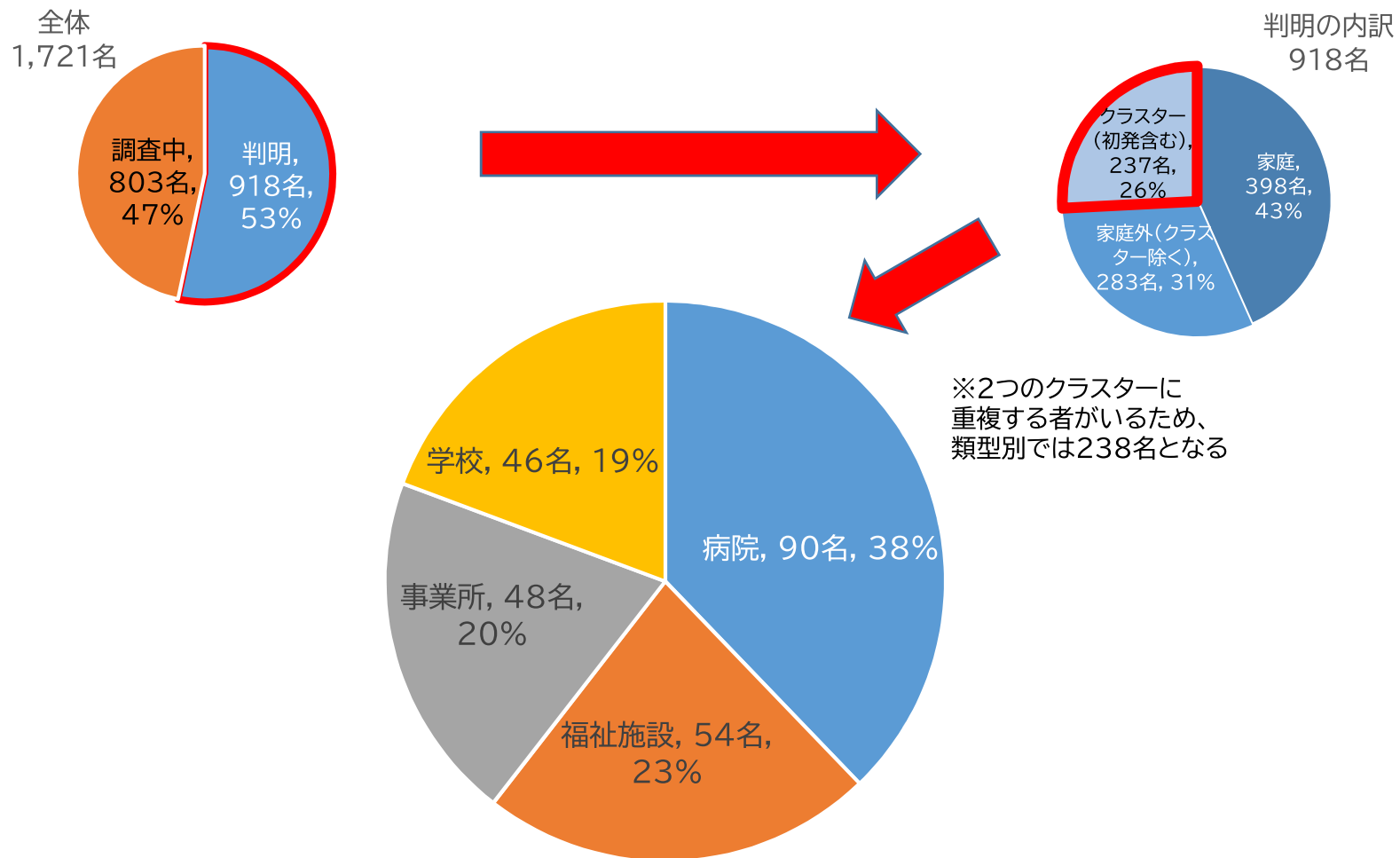
感染症専門医の助言

手をキレイにしましょう

- 目鼻口に触る前、触った後
- 共有物品に触る前、触った後  
(電話、ボールペン、パソコンのキーボードやマウスなど)

(参考④) 感染経路判明者のうち、26%がクラスター感染です。  
クラスター感染は現場での対処が有効です。

クラスターの類型別内訳  
(令和3年3月1日~4月18日 237名)



(参考⑤) 笠原センター長の協力のもと、社会福祉施設等における感染拡大防止のための実施指導を令和2年7月から実施してきました

- ① 感染者が発生した場合に、クラスター化が懸念される社会福祉施設に対し、事前に実地指導
- ② 感染者が発生した社会福祉施設等に対し、実地指導

・医師、感染症管理看護師、県職員等によるチームを編成

・実施指導内容

日常の感染予防対策の点検評価

ゾーニング指導 等

令和2年度 実施指導実績

132件(うち笠原センター長直接指導分 55件) 【速報値】

令和3年度当初予算に必要経費を計上しており、今年度も引き続き実施

### (3) 奈良県の感染経路の特徴と感染防止策について、 笠原センター長に聞いてみました



県の担当者

奈良県の感染状況について、  
特徴的なことは何でしょうか？

感染症専門医の助言

当初は大阪など県外で感染し、家庭に帰って家族に感染させるパターンが多かったです。  
今でもそのパターンは多いですが、最近はそのから県内でも友人や仲間、職場の同僚とのマスクを外した対面によって感染が広がっています。



県の担当者

奈良県は、大阪のベッドタウンの特徴的感染パターンが現れていますね。  
そのような地域の感染防止について、どのように注意すればよいのでしょうか？

感染症専門医の助言

とにかく飛沫、マイクロ飛沫、接触の3つの感染ルートを遮断することが大事です。  
それにはマスクをする、換気をする、消毒をするという行動が大事です。  
また、感染した人の9割は無症状か軽症です。気が付かないまま、近くの人に感染させることがあるんです。  
感染しない心がけも大事ですが、感染させない心がけも大事です。



### (3) 奈良県の感染経路の特徴と感染防止策について、 笠原センター長に聞いてみました



県の担当者

クラスター対策では、実地調査など、大変お世話になっています  
**クラスター防止**は、どうすればよいのでしょうか

感染症専門医

クラスター防止は、**持ち込まない対策**と、**拡大させない対策**の2つの対策の徹底が重要です。体調不良時はしっかりと休むこと、また休憩・食事時間なども含めて感染しない、感染させない行動が大事です。



県の担当者

奈良の急速な感染拡大は、変異株によるものですか？  
変異株に対しては、どうすればよいのですか？

感染症専門医

そうです。変異株は感染力が強いと言われています。しかし行うべき感染防止の行動には変わりありません。感染しない、感染させない行動をしっかりとやっていきましょう。



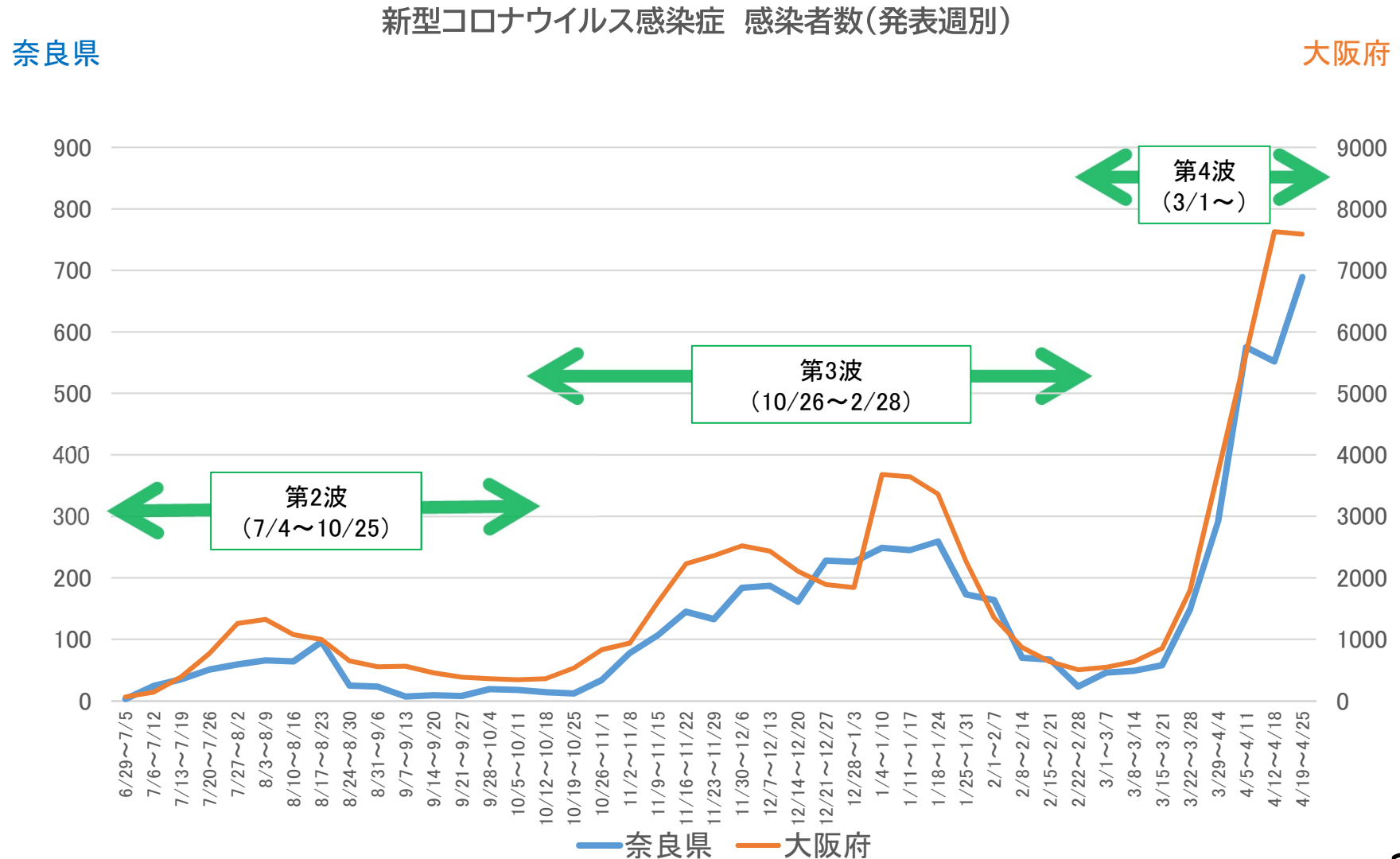
県の担当者

これからも、ご指導  
よろしくお願いします

分かりました一生懸命がんばります  
未来を変えるのは、一人ひとりの行動で  
す。皆さんも一緒にがんばりましょう。



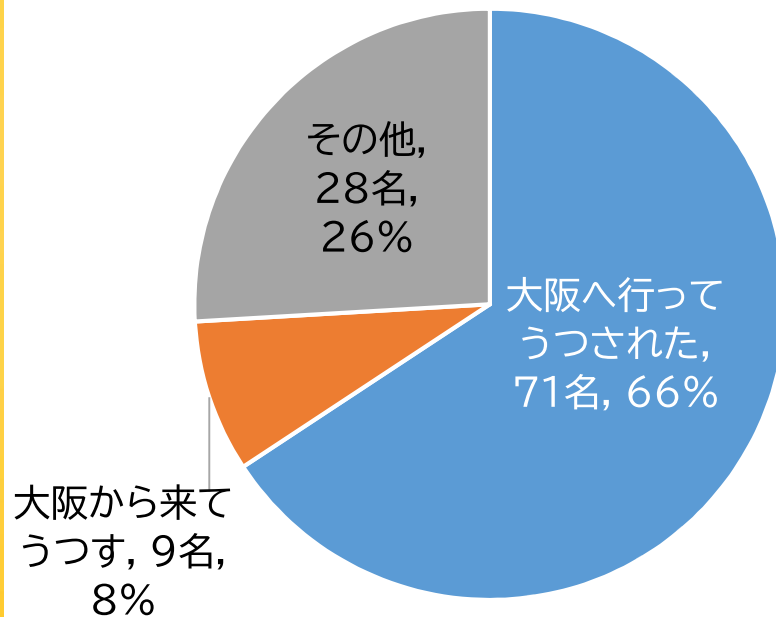
(参考⑥) 奈良県は大阪府の約1/10の規模で感染の波形が一致しています。  
大阪府の感染動向に注意が必要です。



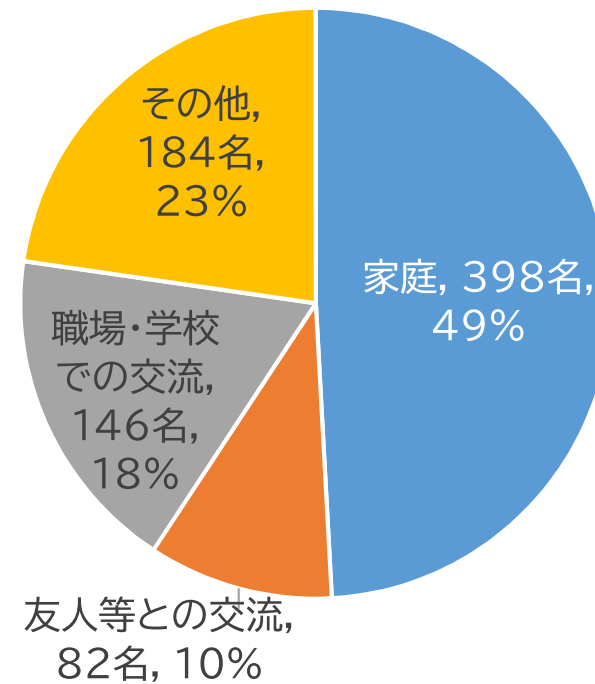
(参考⑦) 感染類型の主役としては、1次感染では大阪関連、2次以降の感染では家族、友人・仲間、職場や学校での仲間が多い状況です。

令和3年3月1日～4月18日 感染経路判明 918名

1次感染(県外の方から感染)  
108名



2次以降感染(県内の方から感染)  
810名  
(2次以降感染にはクラスターの初発を含む)



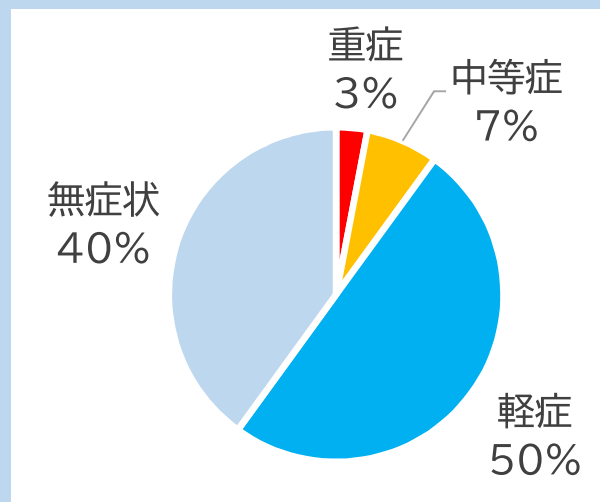
(参考⑧) 新型コロナウイルスに感染していても、軽症や無症状のことがあります

感染症専門医の助言



新型コロナウイルス感染症といえば、  
すごく重症になるイメージが強いかもしれませんが、  
実際には、**感染者のほとんどが、無症状または軽症です**

しかし、**無症状または軽症であって、人に感染させる可能性があります**



まさかこんな軽い症状で  
自分がコロナだと思わなかった  
もっとしんどくなるものだ  
と  
思った

